

編集後記

今回初めて歯学部ニュースの編集委員を担当させていただきました。編集委員として普段接する機会のない教職員・学生の皆様に原稿を依頼することになり、初めは緊張もありましたが、原稿のやり取りを重ねることにお話しをする機会も増え、今では廊下や病院の通路でお会いするのが楽しみでなりません。また編集委員の先生方にも恵まれ多くのことを学ばせていただき、ご褒美つきの経験となりました。最後に、お忙しい中原稿の執筆にご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

顎顔面放射線学分野 池 真樹子

新潟大学歯学部ニュースの編集を担当してあっという間に半年が過ぎた。桜の花びら舞う春が終わったと思ったら、季節はもう秋なのである。今回の編集作業を通して本誌がとても身近に感じるようになった。このことは、編集を担当させていただいた方々に感謝してもしきれない。読者や執筆者の笑顔が想像できるようで、これから将来にわたり歯学部ニュースの刊行が待ち遠しく、読むのが楽しみでならない。また何らかの機会があれば、本誌に関わりたいものである。

う蝕学分野 金子 友厚

今回、「素顔拝見」「大学院へ行こう」「総合診療部を経験して」「新入生合宿研修を終えて」「同窓会」の項目を担当させて頂きました。原稿を依頼した皆様、突然のお願いにも関わらず嫌な顔一つせず引き受けて下さり、本当にありがとうございました。皆様のお力を借りて、無事に発行する事が出来ました。この歯学部ニュースが、皆様の交流の場、情報源となりましたら幸いです。

う蝕学分野 重谷 佳見

本号の特集では、SSSVによる海外大学訪問について取り上げました。短期間ではありますが、海外の歯学部教育や歯科事情について、実際に身を持って体験することができる本プログラムを学生さん達がどのように感じたか、よく伝わってくるレポートを書いて頂きました。また、日本学術振興会の組織的な若手研究者等海外派遣プログラムで留学された先生方の原稿からは、その充実した海外での研究生生活を垣間見ることが出来ました。計らずも国際交流の盛んな昨今の新潟大学歯学部の雰囲気を感じて頂ける内容になったのではないかと思います。最後に発刊にあたりましてご協力いただきました編集委員の皆様、歯学部事務室の皆様、またお忙しい中原稿の執筆をいただいた皆様に深く感謝いたします。

生体歯科補綴学分野 加来 賢